1人は万人のために　万人は1人のために

みんなで育てる福祉のこころ

さが労働者福祉

第604号
発行日　毎月20日
定価一部　15円
※会員の購読料は会費の中に含む

(一社)佐賀県労働者福祉協議会　佐賀市神野東四丁目7番3号　TEL 0952 (32) 1243
ホームページアドレス：http://saga.rofuku.net/

発行人　井手　雅彦
編集人　江頭　一哉

2021年 あけましておめでとうございます。

旧年中は、労福協・各事業体の諸活動に対しご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年も労働者福祉運動と自主福祉事業の基盤強化及び運動の継承を図るため鋭意努力してまいります。

皆さんと共に「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会の実現」に向かって前進していきましょう。

理事長　井手　雅彦
副理事長　青柳　直
〃　原口　郁哉
〃　俣野　勝敏
専務理事　江頭　一哉
常務理事　高祖　和彦
理事　渡邊　諭
〃　田代　茂
〃　大森　充
〃　田中　洋海
〃　千布　浩一郎
〃　市川　智博
〃　野中　豊明
監事　戸川　武幸
〃　待鳥　洋文
鳥栖・三養基地区会長　大森　充
神埼地区会長　山﨑　裕介
佐賀地区会長　永石　亀
小城・多久地区会長　轟木　信秀
唐津・東松浦地区会長　武野　智宏
伊万里地区会長　野中　靖洋
杵島・武雄地区会長　平山　憲
藤津・鹿島地区会長　田中　洋一
有田地区会長　草場　薫

2021年 年頭のごあいさつ

佐賀県労働者福祉協議会
理事長　井手雅彦

明けましておめでとうございます。会員ならびにご家族の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は初頭からの「新型コロナウイルスの感染拡大」により、世界では7000万人程の方が感染され160万人程の方が命を落とされるなど未曾有の事象が発生し、世界中が混乱に陥りました。日本も例外ではなく十数万人の方が感染し現在も拡大し続けている状況にあります。近年において、これ程のパンデミックは初めてであり、あらゆる面でグローバル化が進んだ現代の弱点が露呈したものと考えられます。ある学者が「人類を破滅に追いやるのは戦争や核ではなく新型ウイルスの蔓延である。」と言われていたのを思いだします。

残念ながらコロナ禍は本年も続きそうであり、まだ情報が少なく不安はありますが、他国で進んでいるワクチン接種等の効果を期待し早期の終息を望むものです。

一方では経済の悪化に伴う労働環境の急激な悪化が懸念されているところです。県内における企業の倒産や経営破綻については当初心配された程ではありませんが、今後の見通しが不透明な中で廃業等余儀なくされた方は相当数あるのではと思います。コロナ禍において雇用状況は急激に悪化しており、昨年まで社会問題化していた人材不足の課題は失業や新卒の就職対策へと一転しています。今こそ労働者福祉運動を活発化させる時であり、これまで以上に生活困窮者や就職の支援活動等々に注力していく必要があると思うところです。

また、第4次産業革命がおこり、私たちの生活やこれまでの概念からかけ離れた働き方に変化していく端境期のこの時期に、コロナ禍においてその変化は加速度を増す可能性があります。私たちは、これらのイノベーションや急激な人口減少により派生する課題に対し対処策などの今後の方針・方向性に加え、時間軸の変化も見直していくことが必要と思うところです。

いずれにしましても、どのような時代になろうとも安心して働き続け安心して暮らせる持続可能な社会構築に向け、私たちはあらゆる取り組みを推進していかなければならないと考えるところです。

本年も労福協事業の取り組みに対し、これまで同様のご理解とご協力をお願いし、年頭の挨拶と致します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2021年 年頭のごあいさつ

労働者福祉中央協議会
会　長　神津　里季生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、異例の事態が続いた1年でした。中央労福協では、三次にわたり省庁・政党に対して緊急要請を行いました。また、労働者自主福祉の取り組みとして生活・就労応援基金（ろうふくエール基金）を設置し、地方労福協が地域で共感を広げ新たな活動にチャレンジするための後押しを行いました。さらに、実開催が叶わなかった全国研究集会では、コロナ禍・大規模災害に強い地域づくりをテーマとした動画を配信し、地域コミュニティのあり方について考察を深めました。あらゆる活動が制限されるなか、「労福協の2030年ビジョン」に改めて確信を持ちながら、歩みを進めてまいりました。これもひとえに、加盟団体をはじめとする関係者の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

しかし、日本では依然として多くの人々が仕事や住まいを失い、様々な困難を抱えています。とりわけ社会的に弱い立場にいる方々ほど深刻な打撃を受け、格差や社会の分断がより拡大しつつあります。様々な時限的な特例措置が講じられた公的セーフティネットについても、その脆弱性について根本的な解決には至っていません。貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きくらせる持続可能な社会を実現するために、今こそ私たちが真価を発揮する時です。

そのためには、労働運動と労働者福祉事業が「ともに運動する主体」として関係を強化し、消費者運動、NPO・市民運動などとの連携を深め、共助の輪を広げることにより、多様で重層的なセーフティネットを日本社会に張り巡らし、貧困や格差を是正していくことが必要です。

中央労福協は、このポストコロナ時代のスタートの年に、「つながり、寄りそい、支え合う」ことを基軸に、誰もが「助けて」と言える社会を目指します。そのために新しい手法を柔軟に取り入れ、「今こそ労働者福祉運動の出番」との気概をもって取り組んでいきます。

2021年 年頭のごあいさつ

九州労働金庫佐賀県本部
本部長　青柳　直

新年明けましておめでとうございます。コロナ禍に世界が翻弄された一年が終わり、新しい年を迎え皆さま方にはご家族でお健やかにお正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、世界中が新型コロナウイルスの感染拡大の対応に追われ、人々の移動にも制限がかかり「外出自粛」や「新しい生活様式」といった過去に経験したことがない大変厳しい経済環境下にあったにもかかわらず、会員・構成組織をはじめ多くの関係者の方々に多大なるご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

今日の日本経済は、ヒト・モノ・カネの流れに回復の兆しが見え始めたものの、コロナの新規感染者が全国各地で増加傾向にあることから景気の先行きに不透明感が高まっており、コロナが収束するには一定の期間がかかると思います。

政府としては、経済を下支えするため支援策を講じてはいるものの急速な景気回復は難しく、当面の間は厳しい経済や雇用状況が続くことが想定されます。

労働金庫としては、こうしたコロナ過の状況を踏まえ経済的に苦しくなった会員・組合員に対し勤労者生活支援特別融資を活用した生活支援を行っています。また、昨年から推進委員会と協同した取り組みを新たにスタートさせ、さらに会員・顧客の更なる利便性の向上に向け非対面チャネルの活用を推進しています。

本年も、九州労金に対するご支援・ご協力を改めてお願いするとともに、「丑年」は「我慢(耐える)」、また「発展の前振れ(芽が出る)」とされています。まさに、今年は「我慢」の年であり、「発展の前振れ」の年になるようご祈念申し上げ新年のあいさつといたします。

2021年 年頭のごあいさつ

こくみん共済coop佐賀推進本部
本部長　原口郁哉

新年あけましておめでとうございます。みなさまには2021年の年明けをつつがなくお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中は「こくみん共済coop」の事業活動に一方ならぬご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げますとともに、本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨2020年は、新型コロナに明け新型コロナに暮れた一年となりました。年末に向けて第3波とされる感染拡大が始まり、心配な状況が続いております。どうかみなさまもこれまで以上にご自愛いただくようお願いいたします。

改めてインターネットで干支を調べてみますと、昨年の「庚子(かのえね)」は「変化の多い年」とされていました。言われてみれば確かに、新型コロナウイルスにより生活が一変した年だったと思います。行動変容が求められ、「新しい生活様式」なるものに従わざるをえない状況になりました。仕事の面でも在宅勤務やオンライン会議がさかんになり、直接顔を合わせる機会が極端に少なくなりました。私たちの仕事でも、協力団体(労働組合)との接触機会が減りました。例年、多くの産別や組合から大会等のご案内をいただき、ご挨拶に伺わせていただいておりましたが、昨年はわずか一度しかその機会に恵まれませんでした。今の感染状況が長引けば、この傾向がしばらく続くのではないかと憂慮しております。

しかし、こうしてコロナ禍で変わっていく社会状況にあっても、変えてはいけないものがあると思います。その一つが、人と人とのつながりであり、「お互いさま」の心だと思います。こくみん共済coop佐賀推進本部では、このような時だからこそ、今できる「たすけあい」を大切にし、「お役立ち」に徹してまいりたいと思います。

コロナ禍がいち早く落ち着きますことと、2021年が実り多い年でありますことをご祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

2021年 年頭のごあいさつ

佐賀県生活協同組合連合会
会　長　福井健一

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症パンデミックは100年に一度といわれる公衆衛生上・経済上の危機にあります。世界経済・日本経済は戦後最悪の景気後退にあり、今後の回復は見通せない状況です。一昨年の消費税増税の影響が残る中で、組合員をはじめ生活者の暮らしは厳しさを増し、格差の拡大や社会的分断・孤立化の進行も懸念されます。

また、コロナ禍の中でコミュニケーションや働き方、企業活動のデジタルシフトが加速化し、社会システムは大きく変化しています。小売・流通業においても変革が加速化し人口減少・少子高齢化が本格化する中で、競争環境はより厳しくなることが予想されます。

2021年度は新型コロナで浮上した課題や社会変化を積極的にとらえ、組合員と社会の期待に応えられる事業・活動に取り組むことが求められます。厳しい環境のなかでも、それぞれの生協は改革を継続し「足場づくり」を着実にすすめ、労福協に集う様々な団体と連携し地域課題の解決に取り組みます。大変な状況は続きますが、共に頑張りましょう。

言ーたい劇場

小菅りや子

下の絵は上の絵をベースに考えて「7つの間違い」があります。それはどこでしょう。
次の①～⑧のうち、間違いの全ての番号をご記入ください。

①雲の数　②一番奥で凧をあげている牛の角　③中央で凧をあげている牛の足
④手前で凧をあげている牛の口　⑤中央の凧のあしが長い　⑥奴だこの模様
⑦右側で寝そべっている牛のマフラーが無い　⑧中央の凧に書いている西暦の数字
ただし、印刷上の汚れやかすれ、スクリーントーンの濃淡は間違いとはしません。

旅行会

お年玉クイズ 7つのまちがい捜し

こたえがわかった方は官製ハガキに『こたえ』と住所（〒）氏名・年令・自宅の電話番号・勤務先を明記のうえ左記のところへお送りください。お年玉として「宿泊・食事引換券（一万円相当）」を一名様、「図書券」を十名様に進呈いたします。（なお、〆切日は一月二十五日とし、正解者多数の場合は抽選のうえ決めさせていただきます。）

▽〒840-0804
佐賀市神野東四丁目七―三
勤労者旅行会

▽当選者発表は二月号紙上

▽協定旅館
【佐賀】千代田館
【川上】龍登園
【唐津】シーサイドホテル
【嬉野】華翠苑・和楽園
【武雄】春慶屋

『丑（牛）』のつく諺…

牛売って牛にならず

【うしうってうしにならず】
【意味】　牛を売った代金で、代わりの牛を買おうとしても金が足らない。だれでも自分の物は高く評価しがちで、売りは安く買いは高く、人にもうけられるだけだ。

牛に対して琴を弾ず

【うしにたいしてことをだんず】
【意味】　いくら説ききかせてもだめなこと。愚かなものに立派なよい道理を説いたところでわからない、無益であること。魯の賢者、公明儀は牛に対して清角の操という琴の名曲を弾いて聞かせたが、牛は草を食って知らぬ顔。聞かないのではない耳に合わないのである、という故事から出た語。

牛に引かれて善光寺詣り

【うしにひかれてぜんこうじまいり】
【意味】　善光寺（長野市にある寺）の近くに住んでいた老婆が、さらしていた布を、隣家の牛が角に引っかけて走っていくのを追って行くうちに、善光寺に達し、日頃は不信心であったが、それが縁で信仰するようになったという話から、本心からではなく、他のものに誘われてたまたま善いことをする、という意味。

牛は牛づれ馬は馬づれ

【うしはうしづれうまはうまづれ】
【意味】　それ相応の似合わしい相手どうしが一緒になるのが一番よい、という意。

牛も千里馬も千里

【うしもせんりうまもせんり】
【意味】　巧いかまずいか、遅いか早いかの違いはあっても、行きつくところは結局同じである。あわてることはないというたとえ。

鶏口となる牛後となる勿れ

【けいこうとなるぎゅうごとなるなかれ】
【意味】　大きな団体で、しりに付いているよりも、小さな団体でもその長となれという意味で、人に従属するよりも独立した方がよいというたとえ。

2021

【うし　丑】　十二支の第二番目。動物では牛に当てる。年月日に用いるほか、方角では北北東。時刻では午前二時ごろ、また、その前後二時間の呼び名とする。